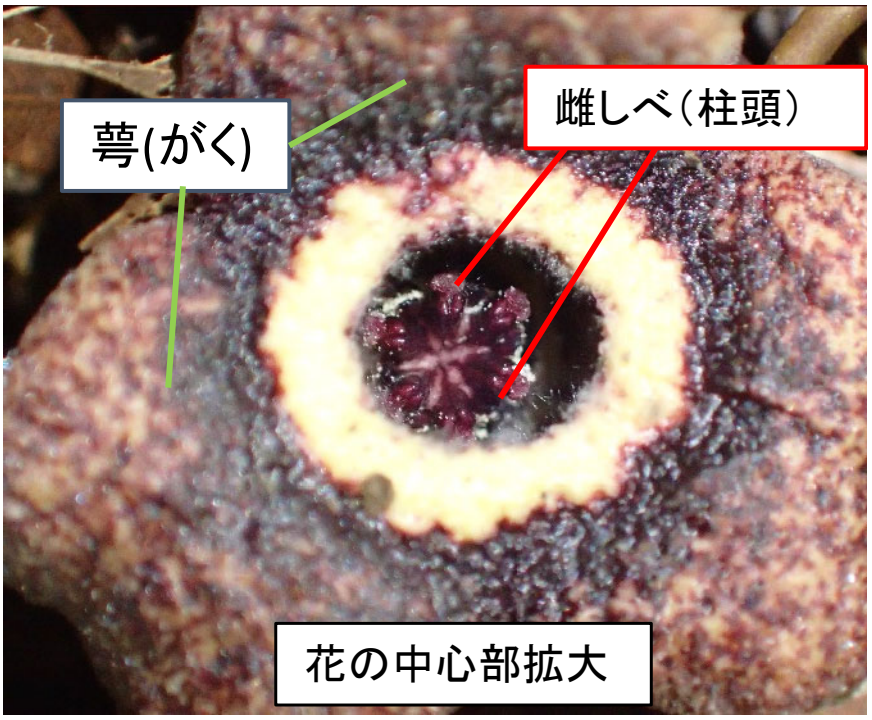
カンアオイ　　ウマノスズクサ科



山地の林下に生える常緑多年草で、茎は地を這う。暗い紫色の花が葉柄の基部に地面に埋もれるようにして咲く。

園内での花期は11月中旬から12月中旬頃。近年は開花が遅くなっている。



花弁のように見えるものは、萼(がく)であり、基部で合着して筒状になっている。

花の中心をのぞくと６本の雌しべが見える。雄しべは12本あるが、雌しべより短く、外側からは見えない。



園内にはよく似たタマノカンアオイも生育しているが、花の時期は４月中旬から５月中旬までと大きく異なる。葉に鈍い光沢があり、花弁のような萼が波うった形であることが特徴。